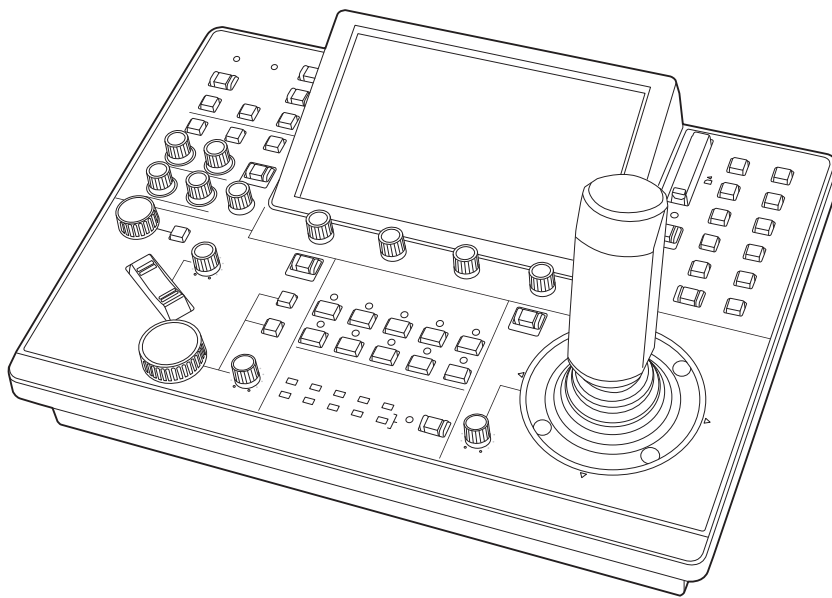


Panasonic[®]

取扱説明書 簡易版

リモートカメラコントローラー

品番 **AW-RP150G**



簡易版
取扱説明書

詳細は、当社Webサイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>)
に掲載されている取扱説明書 (PDF) を参照してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

GJ

CG0419WT2024 -FJ
Printed in China

JAPANESE

DVQX1853XA

商標および登録商標について

- Microsoft[®]、Windows[®]、Windows[®] 7およびInternet Explorer[®]は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為
は禁じられています。

本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。^{*}
法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。
^{*} 経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Microsoft[®] Windows[®] 7 Professional SP1 32/64ビット日本語版をWindows 7と表記しています。
- SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。
それぞれを分けて説明する場合は、個別に記載しています。
- 本書では、特定した機器を示す場合を除いて、「4Kインテグレートッドカメラ」、または「回転台とカメラの組み合わせ」のことを、総称して「リモートカメラ」と記載しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。



機器の品番	本書での記載
AW-RP150G	AW-RP150
AW-UE150W	AW-UE150
AW-UE150K	

もくじ








安全上のご注意.....	4
はじめに.....	7
特長.....	8
対応するリモートカメラ.....	8
使用上のお願い.....	9
各部の名前とはたらき.....	10
制御パネル部.....	10
背面部.....	14
設置上のご注意.....	15
接続.....	16
IP接続例.....	16
シリアル接続例.....	18
トラブルシューティング.....	20
外形寸法図.....	21
定格.....	22
保証とアフターサービス(よくお読みください).....	22

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。






■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。










■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

    	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。




 **警告**

	<p>■ 本機の設置や接続工事は販売店に依頼する (設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。) ⇒必ず販売店に依頼してください。</p>
	<p>■ 電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしない (火災や感電の原因となります。)</p>
<p>異常、故障時には直ちに使用を中止する</p>	
 <p>電源プラグ を抜く</p>	<p>■ 異常があったときは、PoE+ 給電のLANケーブルおよび外部DC電源の電源プラグを抜く [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、 煙や異臭、異音などが出たとき] (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) ⇒本機を電源から完全に遮断するには、PoE+ 給電のLANケーブル、DCコードを抜く必要があります。 ⇒お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 外部DC電源のDCプラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒傷んだプラグは使用しないでください。 (DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</p>
	<p>■ PoE+ 給電のLANケーブル、DCコードのほこりなどは、定期的にとる (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)</p>
	<p>■ 高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは、電源を切る (ペースメーカーや医療機器等の医療現場で使用するときには、本機からの電波が電子機器に影響をおよぼす場合があります、誤動作による事故の原因になります。)</p>
	<p>■ 外部DC電源は、電源電圧、およびDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する (誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。) ⇒詳しくは、本書の14ページを参照してください。 (DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)</p>
	<p>■ 外部DC電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する (不適切な外部DC電源を使用すると火災の原因になります。) ⇒詳しくは、本書の14ページを参照してください。 ⇒外部DC電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 ⇒外部DC電源は、電気用品安全法のマーク  の付いたものをご使用ください。</p>

 **警告 (つづき)**

	<p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や接続ケーブルには触れない (感電の原因になります。)</p>
 水場使用 禁止	<p>■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ ぬれた手で接続ケーブルやコネクタに触れない (感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 振動や強い衝撃を与えない (火災や感電の原因となります。)</p>
	<p>■ メモリーカード (別売品) は乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
<p>PoE+ 給電の LAN ケーブル、外部 DC 電源は・・・</p>	
	<p>■ PoE+ 給電の LAN ケーブル、DC コードが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機器に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、 重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。) ⇒ PoE+ 給電の LAN ケーブル、DC コードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、 お守りください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、PoE+ 給電の LAN ケーブル、DC コードには触れない (感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ ぬれた手で PoE+ 給電の LAN ケーブルやコネクタに触れない (感電の原因になります。)</p>

⚠ 注意

	<p>■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない、横倒し、逆さまにしない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。) ⇒本機を絶対に放置しないでください。</p>
	<p>■ 接続ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。</p>
	<p>■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)</p>
 <p>電源プラグを抜く</p>	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、外部DC電源の電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ ケーブルを接続した状態で移動しない (ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。また、ケーブルが引っかかって、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 落としたり、破損させたりしない (本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。) ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
	<p>■ ケーブルなどを傷つけない (重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。)</p>

はじめに

■ 概要

本機は、リモートカメラ (AW-UE150 : 別売品) を制御するリモートカメラコントローラーです。
IP 接続であれば最大 200 台、シリアル接続であれば最大 5 台のリモートカメラを接続することができます。

■ 必要なパーソナルコンピューター的环境

本機で使用するソフトウェアは、下記の Web サイトに示すパーソナルコンピューターでご使用ください。

(日本語) https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

(英語) <https://pro-av.panasonic.net/en/>

■ 免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③ お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④ 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- ⑧ 本体やメモリーカードまたはパーソナルコンピューターに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

■ ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用する機能もあります。
ネットワークへ接続して使用する際には、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ① 本機を経由した情報の漏えいや流出
- ② 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③ 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。
これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

また、以下の点にもご注意ください。

- 本機やケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

■ ユーザー認証について

ネットワークに接続する場合、本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないためには、ユーザー認証を有効にしてアクセスを制限するなどの対策を実施してください。

■ 使用時の制約事項

接続する機器のネットワーク環境は、本機のネットワーク設定と同一のセグメントを推奨します。

セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。

■ アップグレード用ソフトウェアについて

アップグレード用ソフトウェアは、下記の Web サイトの「サポート・ダウンロード」から入手することができます。

(日本語) https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

(英語) <https://pro-av.panasonic.net/en/>

アップグレードの手順は、ダウンロードファイルに含まれている手順書に従って行ってください。

■ 各種ファイルについて

カメラ設定ファイル	リモートカメラの設定ファイルデータです。
RP 設定ファイル	AW-RP150 固有の設定ファイルです。
トレーシングメモリーファイル	トレーシングメモリーのデータファイルです。

特長

IP接続とシリアル接続に対応

IP接続

- ネットワークハブ（スイッチングハブ）を介して最大200台までのリモートカメラ*1を接続することができます。
- 本機の自動IP設定機能で、リモートカメラ*1のIPアドレスを自動的に割り付けて制御可能にします。

*1：対応カメラ：AW-UE150

- 最大5台の本機から、1台のリモートカメラを同時に制御することができます。

シリアル接続

- 最大5台までのリモートカメラを接続することができます。

クロッピングの操作に対応

- 本機とAW-UE150を接続することで、4K映像からHD映像を切り出す操作（Cropping機能）を行うことができます。

リモートカメラを簡単に操作

- パン/チルト、ズーム、フォーカスを操作する専用のレバー、ボタン、ダイヤルを装備。さらに、それぞれに専用のスピード調整ボリュームを配置。
カメラアングル調整を、迅速・確実に行うことができます。
- ホワイトバランス、ブラックバランスの自動調整を実行するAWBボタン、ABBボタンを装備。さらにRch、Bchそれぞれについて、ペダスタル、ゲインを調整する専用ダイヤルを搭載。
マニュアル操作による色調整も、簡単に行うことができます。
- プリセットを多用する運用現場においても、迅速な呼び出し操作ができます。
また、リモートカメラがプリセット位置まで移動する速度（PRESET SPEED）を、本機の各プリセット番号に記憶することができます。運用に応じて、プリセット番号によって異なる速度でリモートカメラを動作させることができ、多彩な映像演出が可能になります。
- 一連の操作を記録するトレーシングメモリーを内蔵。
リモートカメラの動作を再現することができます。
- PoE+*2搭載により本機の電源工事が不要です。
PoE+規格対応のネットワーク機器（IEEE802.3at準拠）*3に接続することによって、本機の電源工事が不要となります。

NOTE

- ソフト認証の必要なPoE+給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまで数分かかる場合があります。
- 外部DC電源とPoE+給電の両方を接続した場合は、外部DC電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部DC電源を抜くと自動で再起動となり、映像が切れます。
- PoE+給電に使用するケーブルは、カテゴリ5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100mです。カテゴリ5以下のケーブルを使用すると給電能力が低下するおそれがあります。
- ギガビットイーサネット対応パーソナルコンピューターとPoE+インジェクターをストレートのLANケーブルで接続している場合は、まれにパーソナルコンピューターで認識されないことがあります。その場合は、パーソナルコンピューターと本機間をクロスLANケーブルで接続（またはクロス接続）してください。

*2: Power over Ethernet Plusの略です。以降「PoE+」と表記いたします。

*3: 動作確認済みのPoE+給電装置については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

対応するリモートカメラ

- 4Kインテグレートドカメラ
AW-UE150

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

取り扱いにはいねいに

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。
また、PAN/TILT レバーやダイヤルを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください。

0℃を下回る寒いところや、40℃を超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

ケーブルの抜き差しは電源を切ってから

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

湿気、ほこりの少ないところで

湿気、ほこりの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞りを、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

NOTE

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

火を近づけないでください

ろうそく等の炎を機器の近くに置かないでください。

水をかけないでください

直接水をかけないでください。故障の原因になります。

廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄される時は環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

液晶パネルについて

液晶パネルのドットについては有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、映像に何ら影響を与えるものではありません。

表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。

液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。

液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。

本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。

液晶パネルはその特性上、明るい静止画などの長時間連続表示や、高温多湿環境下での連続使用をすると、残像、輝度低下、焼きつき、すじなどが発生したり、パネルの一部分の明るさが、しみのように恒久的に変化したままになる場合があります。

また、次のような環境での連続使用は避けてください。

- 高温多湿になる密閉された場所
- 空調設備の吹き出し口近くなど

上記のような映像や環境での長時間使用は液晶パネルの経年変化を早めます。

経年変化の現象を未然に防ぐため、次のことをお勧めします。

- 明るい静止画などは長時間連続して表示しない
- 輝度を下げる
- 使用しない場合は本体（CCUまたはハブの電源）の電源を切る

残像現象は、画面表示を変えることで徐々に解消される場合もあります。

PoE+ 給電について

ソフト認証の必要なPoE+給電装置を使用する場合、給電開始から動作可能になるまで数分かかる場合があります。

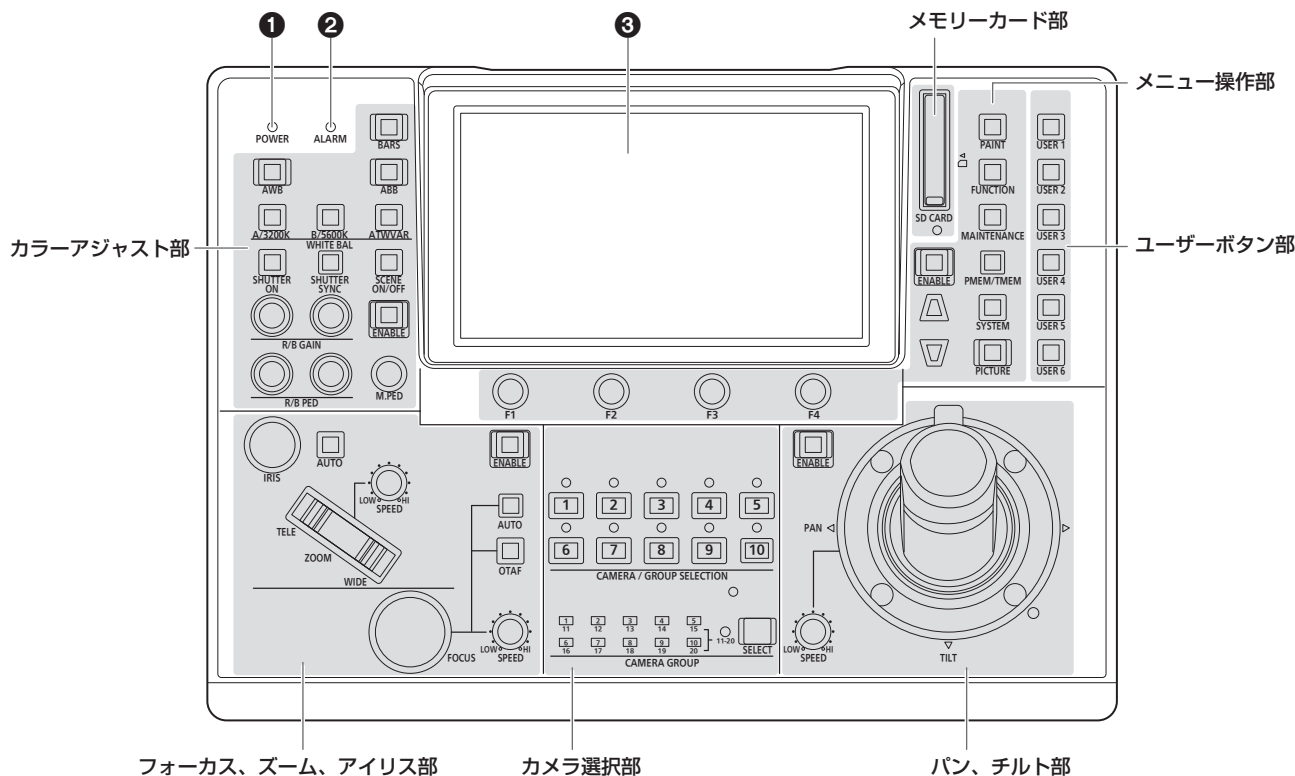
外部DC電源とPoE+給電の両方を接続した場合は、外部DC電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部DC電源を抜くと自動で再起動となり、映像と通信が切れます。

PoE+給電に使用するケーブルは、カテゴリ5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100mです。カテゴリ5以下のケーブルを使用すると給電能力が低下するおそれがあります。

ギガビットイーサネット対応パーソナルコンピューターとPoE+インジェクターをストレートのLANケーブルで接続している場合は、まれにパーソナルコンピューターで認識されないことがあります。その場合は、パーソナルコンピューターと本機間をクロスLANケーブルで接続（またはクロス接続）してください。

各部の名前とはたらき

制御パネル部



① POWERランプ [POWER]

DC IN 端子 (60) に電源が入力されているときに、背面のPOWERスイッチ (44) をONにすると点灯します。

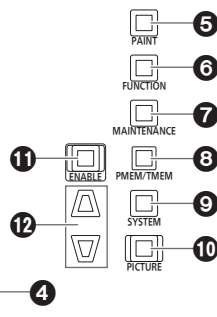
② ALARMランプ [ALARM]

リモートカメラからアラーム (冷却ファンのアラーム、パン/チルトのエラー) を受信したときに点灯します。

③ LCDパネル

現在の設定状態を表示します。

メニュー操作部



④ F1ダイヤル [F1]、F2ダイヤル [F2]、F3ダイヤル [F3]、F4ダイヤル [F4] (メニュー操作ダイヤル)

本機のLCDパネルに表示されている項目を操作します。ステータス画面を表示している場合、LCDパネル下部に表示されている項目の値を操作します。メニュー画面が表示されている場合、選択したメニュー項目の値を操作します。

⑤ PAINTボタン [PAINT]

PAINTメニューをLCDパネルに表示します。

⑥ FUNCTIONボタン [FUNCTION]

FUNCTIONメニューをLCDパネルに表示します。

⑦ MAINTENANCEボタン [MAINTENANCE]

MAINTENANCEメニューをLCDパネルに表示します。

⑧ PMEM/TMEMボタン [PMEM/TMEM]

PMEM/TMEMメニューをLCDパネルに表示します。

各部の名前とはたらき (つづき)

9 SYSTEM ボタン [SYSTEM]

SYSTEMメニューをLCDパネルに表示します。

10 PICTURE ボタン [PICTURE]

3G SDI端子に入力されている映像をLCDパネルに表示します。
長押しすることで、LCDパネルに表示する機能を切り替えます。
(CROP枠を表示もしくは、CROP枠とフォーカスアシストの両方
を表示)

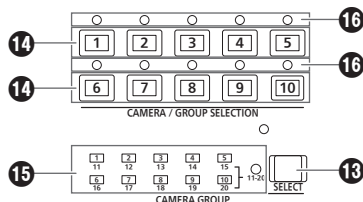
11 メニュー操作ENABLEボタン [ENABLE]

メニュー操作部、ユーザーボタン部、LCDパネルの操作の有効と無効を切り替えます。
長押しすると、LCDパネルを消灯します。

12 カーソル移動ボタン

メニュー画面のカーソルを上下に1行移動します。
PICTUREボタン点灯時、切り出し枠の切り替えに使用します。

カメラ選択部



13 選択モードボタン [SELECT]

押すごとに、消灯→点灯 (カメラグループ1～10の選択状態) →点灯 (カメラグループ11～20の選択状態) と [11-20] ランプ (カメラグループ11～20) …と変化し、カメラ選択ボタン (14) の動作モードが切り替わります。

14 カメラ選択ボタン

[CAMERA / GROUP SELECTION 1～10]

本機から制御するリモートカメラまたはカメラグループを選択します。
カメラ選択モード時に [1]～[10] を押すと、リモートカメラが切り替わります。

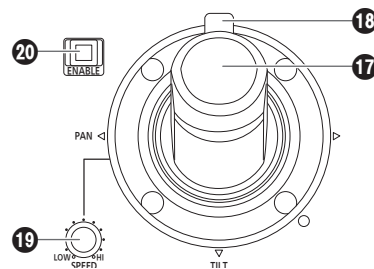
15 カメラグループ表示ランプ [CAMERA GROUP 1～20]

現在選択中のカメラグループ番号が点灯します。
カメラグループの11～20を選択時は、[11-20] ランプが点灯します。

16 カメラステータス表示ランプ [1]～[10]

[1]～[10]に割り当てられたリモートカメラの状態を表示します。
取扱説明書 (PDF) →「リモートカメラを選択する」を参照してください。

パン、チルト部



17 PAN/TILT レバー

現在選択されているリモートカメラの向きを制御します。
PAN/TILTレバーを倒す角度により、動作スピードが変わります。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

18 ZOOM/FOCUS ロッカー

フォーカスまたはズーム機能を割り当てて制御することができます。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

19 PAN/TILT SPEED ダイヤル [SPEED]

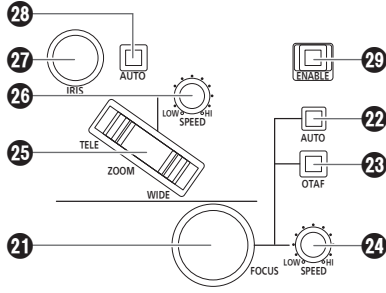
PAN/TILTレバー操作に対する動作スピードの変化量を調整します。

20 PAN/TILT ENABLE ボタン [ENABLE]

PAN/TILTレバーやZOOM/FOCUSロッカーを有効にします。

- PICTUREボタンがONのときにこのボタンを押すと、緑色で点灯して切り出し枠の操作に切り替わります。

フォーカス、ズーム、アイリス部



① FOCUSダイヤル [FOCUS]

手でフォーカス制御を行います。
オートフォーカス中(オートフォーカスボタン(②)が点灯しているとき)は、操作が無効となります。

② オートフォーカスボタン [AUTO]

フォーカス制御を「自動(オートフォーカス)」に設定します。
オートフォーカス中は、FOCUSダイヤル(①)、ワンタッチオートフォーカスボタン(③)の操作が無効となります。

③ ワンタッチオートフォーカスボタン [OTAF]

マニュアルフォーカス中(オートフォーカスボタン(②)が消灯しているとき)に押し、一瞬ボタンが点灯してオートフォーカス動作を行い、焦点を合わせます。

④ FOCUS SPEEDダイヤル [SPEED]

FOCUSダイヤル(①)の操作に対する動作の変化量を調整します。

⑤ ZOOMボタン [ZOOM]

レンズのズームを調整します。
ボタンを押し込む度合いによって、ズーム動作のスピードが変わります。

NOTE

- 電源をONにしたときは、LCDパネルにステータス画面が表示されるまで触れないでください。

⑥ ZOOM SPEEDダイヤル [SPEED]

ZOOMボタン(⑤)の操作に対する動作の変化量を調整します。

⑦ IRISダイヤル [IRIS]

マニュアルアイリス中(オートアイリスボタン(⑧)が消灯しているとき)に手でレンズ絞りを制御します。

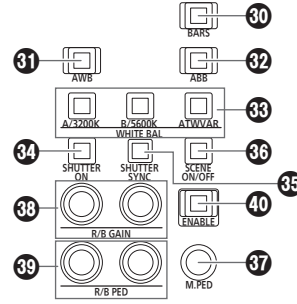
⑧ オートアイリスボタン [AUTO]

レンズ絞りの制御を「自動(オートアイリス)」に設定します。

⑨ FOCUS/ZOOM/IRIS ENABLEボタン [ENABLE]

FOCUSダイヤル(①)、ZOOMボタン(⑤)、IRISダイヤル(⑦)の操作の有効と無効を切り替えます。

カラーアジャスト部



⑩ BARSボタン [BARS]

リモートカメラから出力される映像信号を選択します。
ボタンを押すごとに、「カメラが撮影している映像信号」、「カラーバース信号」が切り替わります。

⑪ AWBボタン [AWB]

ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整結果をリモートカメラのメモリーAやメモリーBに登録します。
ホワイトバランスの調整中はAWBボタンが点滅し、正常に調整されたときに消灯します。

⑫ ABBボタン [ABB]

ブラックバランスの自動調整を実行します。
ボタンを押すと自動的にアイリスが絞られ調整が実行されます。

⑬ WHITE BAL A/3200K、B/5600K、ATW/VARボタン [WHITE BAL A/3200K、B/5600K、ATW/VAR]

リモートカメラのホワイトバランスモードを選択します。

A/3200K : ● A/3200Kボタンを押すと、カメラのメモリーAに登録されているホワイトバランスの状態になり、A/3200Kボタンがアンバー色で点灯します。

● A/3200Kボタンを長押しすると、色温度を3200Kに設定し、A/3200Kボタンが緑色で点灯します。

B/5600K : ● B/5600Kボタンを押すと、カメラのメモリーBに登録されているホワイトバランスの状態になり、B/5600Kボタンがアンバー色で点灯します。

● B/5600Kボタンを長押しすると、色温度を5600Kに設定し、B/5600Kボタンが緑色で点灯します。

ATW/VAR : ● ATW/VARボタンを押すと、照明条件に応じてホワイトバランスを自動追尾させるオートトラッキングホワイトバランス(ATW)モードになり、ATW/VARボタンがアンバー色で点灯します。

● ATW/VARボタンを長押しすると、メニューで設定した色温度に設定し、ATW/VARボタンが緑色で点灯します。

⑭ SHUTTER ONボタン [SHUTTER ON]

点灯 : シャッターが有効
消灯 : シャッターが無効

- 設定値の範囲は、接続先のリモートカメラの取扱説明書を参照してください。

各部の名前とはたらき (つづき)

③⑤ SHUTTER SYNC ボタン [SHUTTER SYNC]

点灯：シンクロシャッター
消灯：ステップシャッター

- 設定値の範囲は、接続先のリモートカメラの取扱説明書を参照してください。

③⑥ SCENE ON/OFF ボタン [SCENE ON/OFF]

将来拡張機能用のボタンです。
現在は、点灯状態で固定です。

③⑦ M.PED ダイヤル [M.PED]

マスターペダスタルを調整します。

③⑧ R/B GAIN ダイヤル [R/B GAIN]

Rch、Bchのゲイン (R GAIN、B GAIN) を個別に調整することで、ホワイトバランスをお好みの設定にします。

③⑨ R/B PED ダイヤル [R/B PED]

Rch、Bchのペダスタル (R PED、B PED) を個別に調整することで、ブラックバランスをお好みの設定にします。

④⑩ カラーアジャスト ENABLE ボタン [ENABLE]

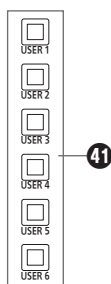
カラーアジャスト部の操作の有効と無効を切り替えます。

点灯：カラーアジャスト部の操作が有効
消灯：カラーアジャスト部の操作が無効

メモ

- M.PED ダイヤル (③⑦)、R/B GAIN ダイヤル (③⑧)、R/B PED ダイヤル (③⑨) を操作すると、LCD パネルのステータス画面で設定値を確認できます。

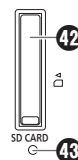
ユーザーボタン部



④① USER ボタン [USER 1] ~ [USER 6]

USER 1 ~ USER 6 に割り当てた機能呼び出します。

メモリーカード部



④② メモリーカードスロット

SD メモリーカード (別売)、SDHC メモリーカード (別売) または SDXC メモリーカード (別売) を挿入します。

④③ メモリーカードアクセスランプ

メモリーカードにアクセスしている間、ランプが点灯します。
(短い期間のアクセスを繰り返しているときは点滅します)
アクセスランプが点灯または点滅している間は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。メモリーカードのデータが破壊されることがあります。

● メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SDHC 規格 / SDXC 規格に準拠したものをお使いください。

また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

本機では、下記の容量のメモリーカードが使用できます。

なお、マルチメディアカード (MMC) には対応していません。

SDHC	4 GB ~ 32 GB まで
SDXC	64 GB

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記の Web サイトをご参照ください。

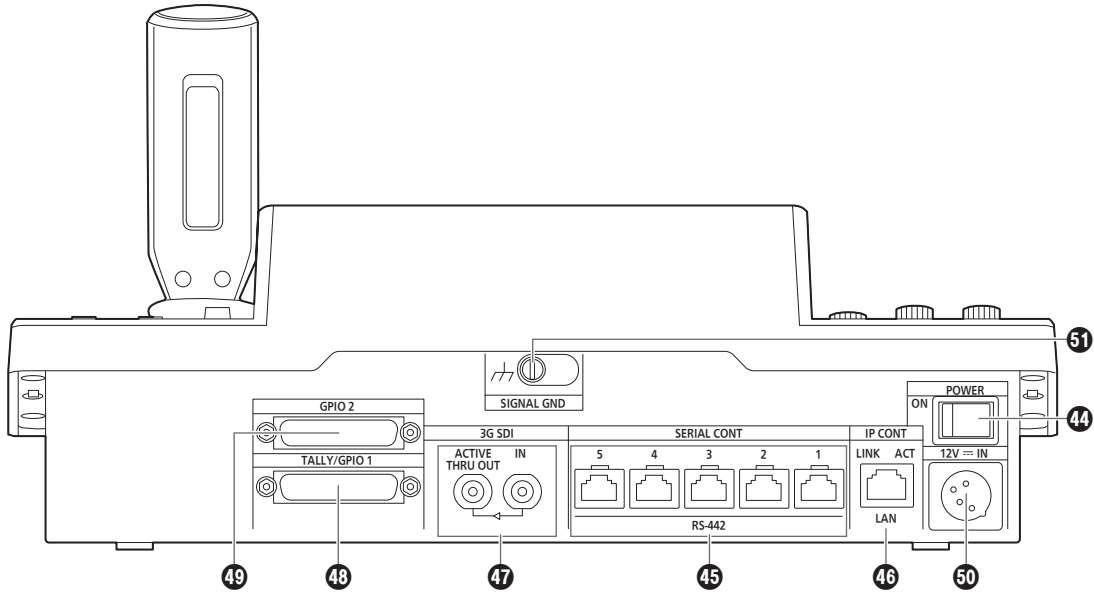
(日本語) https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

(英語) <https://pro-av.panasonic.net/en/>

● 使用時、保管時は以下の点にお気をつけください。

- ・高温・多湿を避ける。
- ・水滴を付けない。
- ・帯電を避ける。

背面部



44 POWERスイッチ [POWER]

POWERスイッチをONにするとPOWERランプ (①) が点灯し、本機を操作することができます。

45 SERIAL CONT 1 ~ 5 端子

[SERIAL CONT 1 ~ 5] (RJ-45)

シリアル接続対応のリモートカメラをLANケーブルで接続します。ストレートケーブル (カテゴリー 5e以上のシールドケーブル) で接続してください。

詳しくは、「接続」(16 ~ 19ページ) を参照してください。

NOTE

- これらの端子には、PoE+ 給電用のケーブルを接続しないでください。

46 IP CONT 端子 [IP CONT] (RJ-45)

(10BASE-T/100BASE-TX)

IP接続対応のリモートカメラおよびコンピューターをLANケーブルで接続します。

本機と機器を直接接続する場合は、クロスケーブル (カテゴリー 5eのケーブル) を使用してください。

ハブ (スイッチングハブ) 等を経由して接続する場合は、ストレートケーブルまたは、クロスケーブル (カテゴリー 5eケーブル) を使用してください。

詳しくは、「接続」(16 ~ 19ページ) を参照してください。

47 3G SDI 端子 [3G SDI]

HD SDI 信号の入出力に使用します。

- 本機の電源がOFFのときは、ACTIVE THRU OUT 端子から信号が出力されません。

詳しくは、「接続」(16 ~ 19ページ) を参照してください。

48 TALLY/GPIO 1 端子 [TALLY/GPIO 1]

JST 製 : JBY-25S-1A3F(LF) (SN)

外部機器と接続して、タリー情報の受信や、カメラ選択状態の送信をすることができます。

端子に接続するケーブルは、シールド付きのものを使用してください。

49 GPIO 2 端子 [GPIO 2]

JST 製 : JBY-25S-1A3F(LF) (SN)

外部機器と接続して、カメラの選択や、プリセット再生を行うことができます。

端子に接続するケーブルは、シールド付きのものを使用してください。

50 DC IN 端子 [12V IN] (DC 12 V) (XLRコネクター)

外部DC電源を接続します。

- DCコードは、最長2 m (AWG16コード使用時) のコードを使用してください。

■ 外部DC電源について

外部DC電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。

外部DC電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕があるものをお選びください。

接続機器の合計電流は、次の式で求めることができます。

総消費電力 ÷ 電圧

本機の電源が入ったときには、突入電流が発生します。電源が入ったときに電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機および本機の電源が入ったときと連動して電源が入る接続機器 (レンズ、ワイヤレスマイクレシーバーなど) の、総消費電力の2倍以上の電力を確保できる、外部DC電源のご使用をお勧めします。

- 外部DC電源のDC出力端子と、本機のDC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。

12V IN	
1	GND
2	—
3	—
4	+12V
HA16RA-4P(77) ヒロセ電機製	

51 グラウンド端子 [SIGNAL GND]

システムのグラウンドに接続してください。

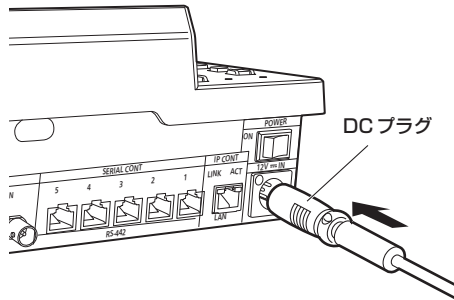
設置上のご注意

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。

電源の接続について

- 外部DC電源のDCプラグは、ロックするまで奥に差し込んでください。



- 長時間使用しないときは、節電のため電源スイッチを切り、外部DC電源のDCプラグを抜いてください。

内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

設置場所について

- 本機は、屋内専用の機器です。
- 安定した場所に設置して使用してください。
- 直射日光の当たるところへの設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。

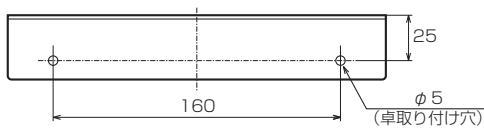
卓埋め込み時の取り付け例

本機を卓に埋め込んで使用する場合は、下記の手順を参考にしてください。

1. 設置場所に応じたマウントアングルを製作する

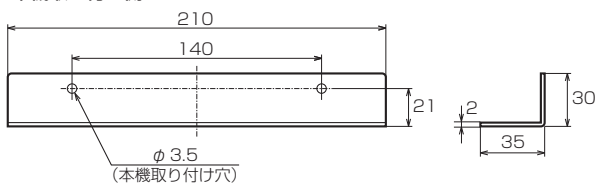
<マウントアングル例>

● 卓取り付け側

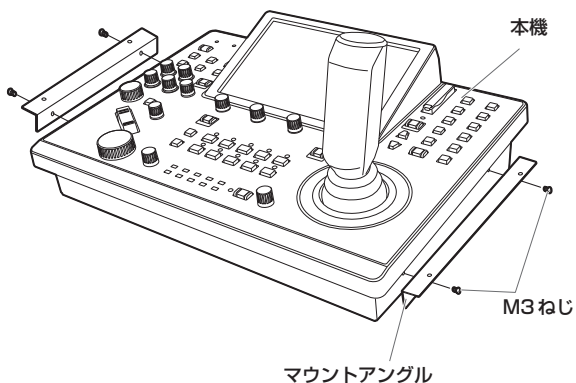


(単位: mm)

● 本機取り付け側



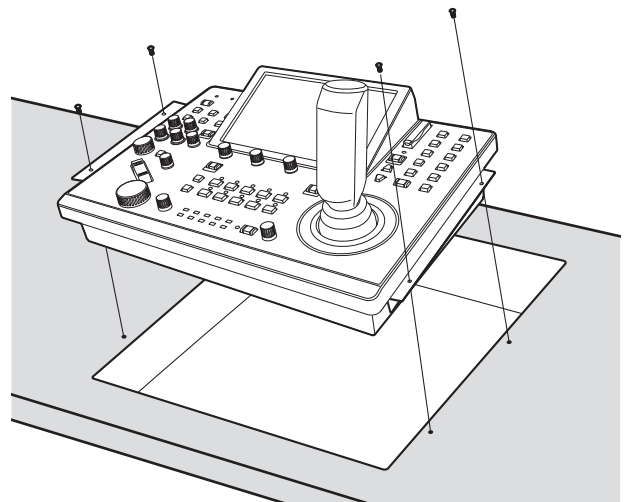
2. マウントアングルを本機の側面に取り付ける (M3ねじ、4本)



NOTE

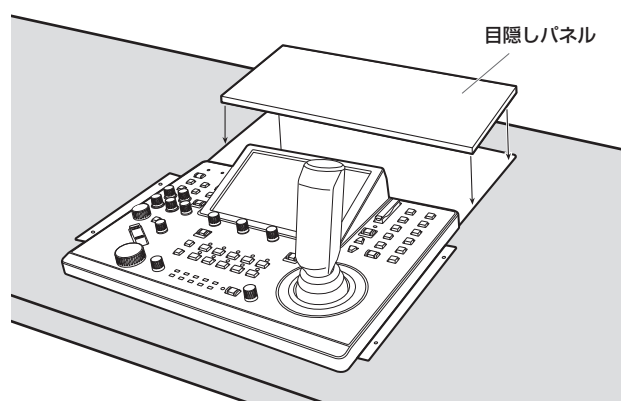
- 本機へのマウントアングル取り付け時の寸法の詳細については、「外形寸法図」(21ページ)を参照してください。

3. 卓の開口部に本機をはめ込み、固定する (ねじ4本)



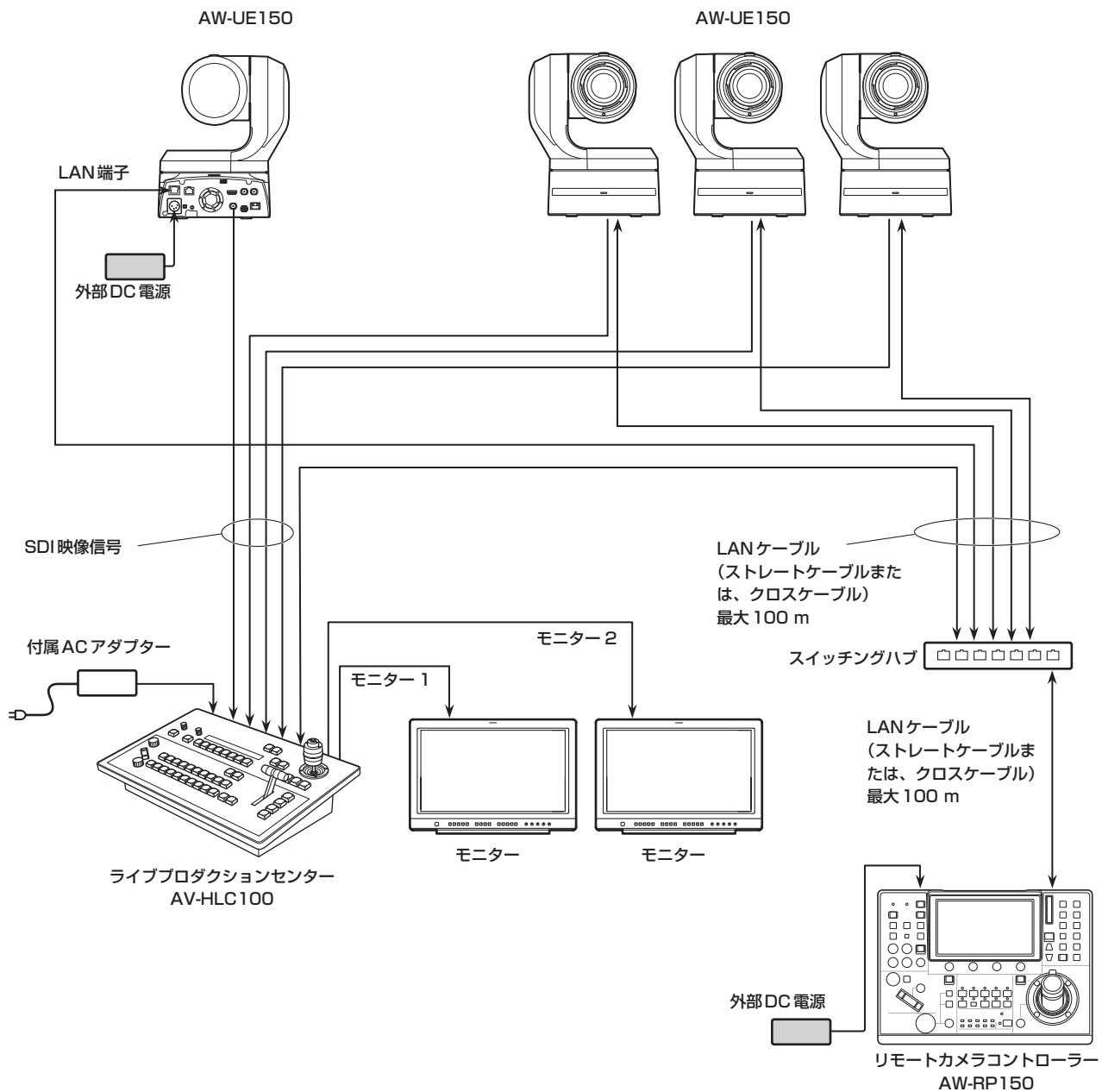
- 卓取り付け穴のサイズ (例: $\phi 5$ mm) に適合するねじをご準備ください。

4. 必要に応じて目隠しパネルを製作し、卓にはめ込む



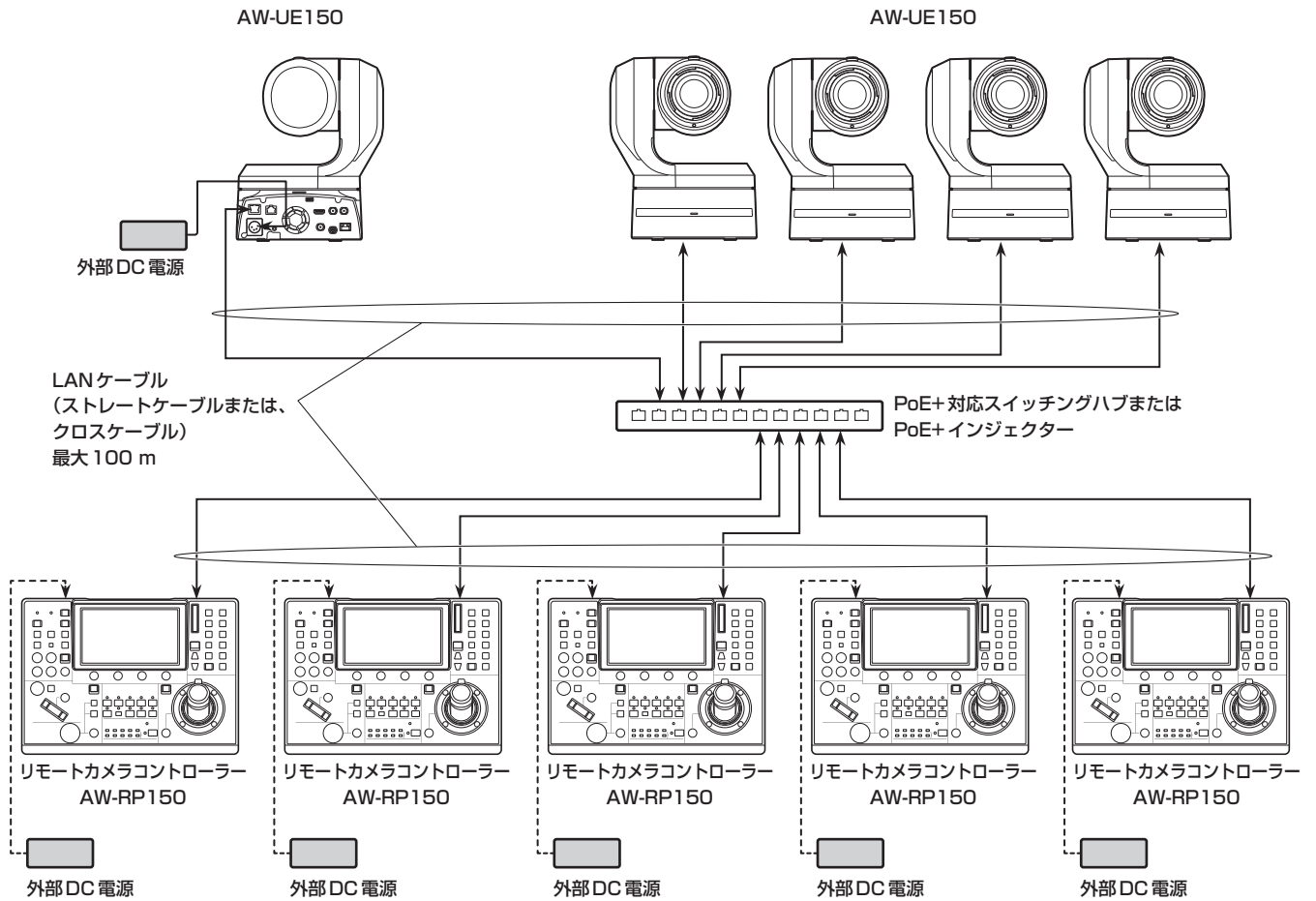
IP 接続例

■ リモートカメラ (AW-UE150) との IP 接続



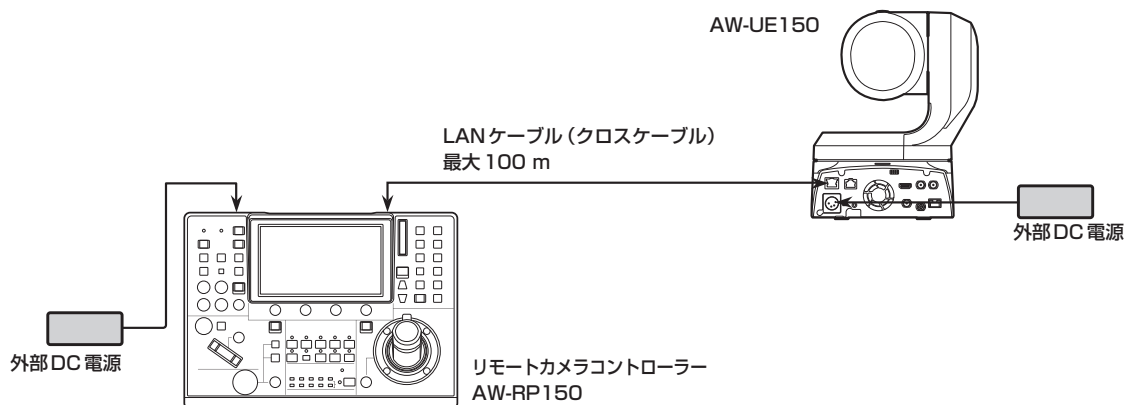
- LANケーブルは、カテゴリ 5e ケーブルを使用してください。
- シリアル接続のリモートカメラを混在させることもできます。
- 本機 1 台に、IP 接続、シリアル接続を合計して最大 200 台のリモートカメラを制御先として登録することができます。

■ 複数台の本機とリモートカメラ (AW-UE150) との IP 接続



- LANケーブルは、カテゴリ 5e ケーブルを使用してください。
- 1 台のリモートカメラを最大 5 台の本機から同時に操作することができます。(IP 接続時)

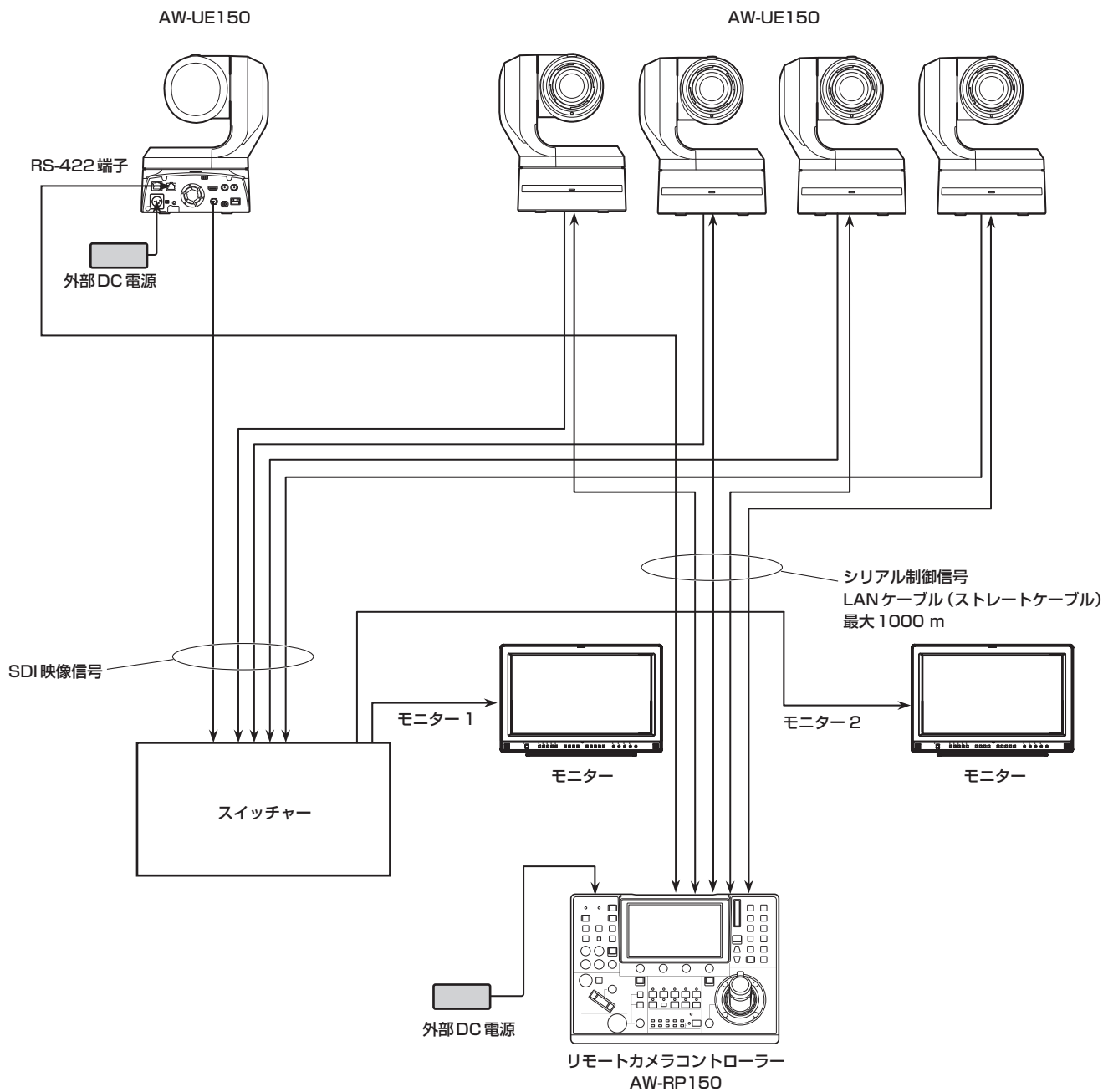
■ 本機 1 台とリモートカメラ 1 台との IP 接続



- LANケーブルは、クロスケーブル (カテゴリ 5e ケーブル) を使用してください。
- AW-UE150 以外のカメラと接続する場合は、各カメラ側の取説を参照してください。

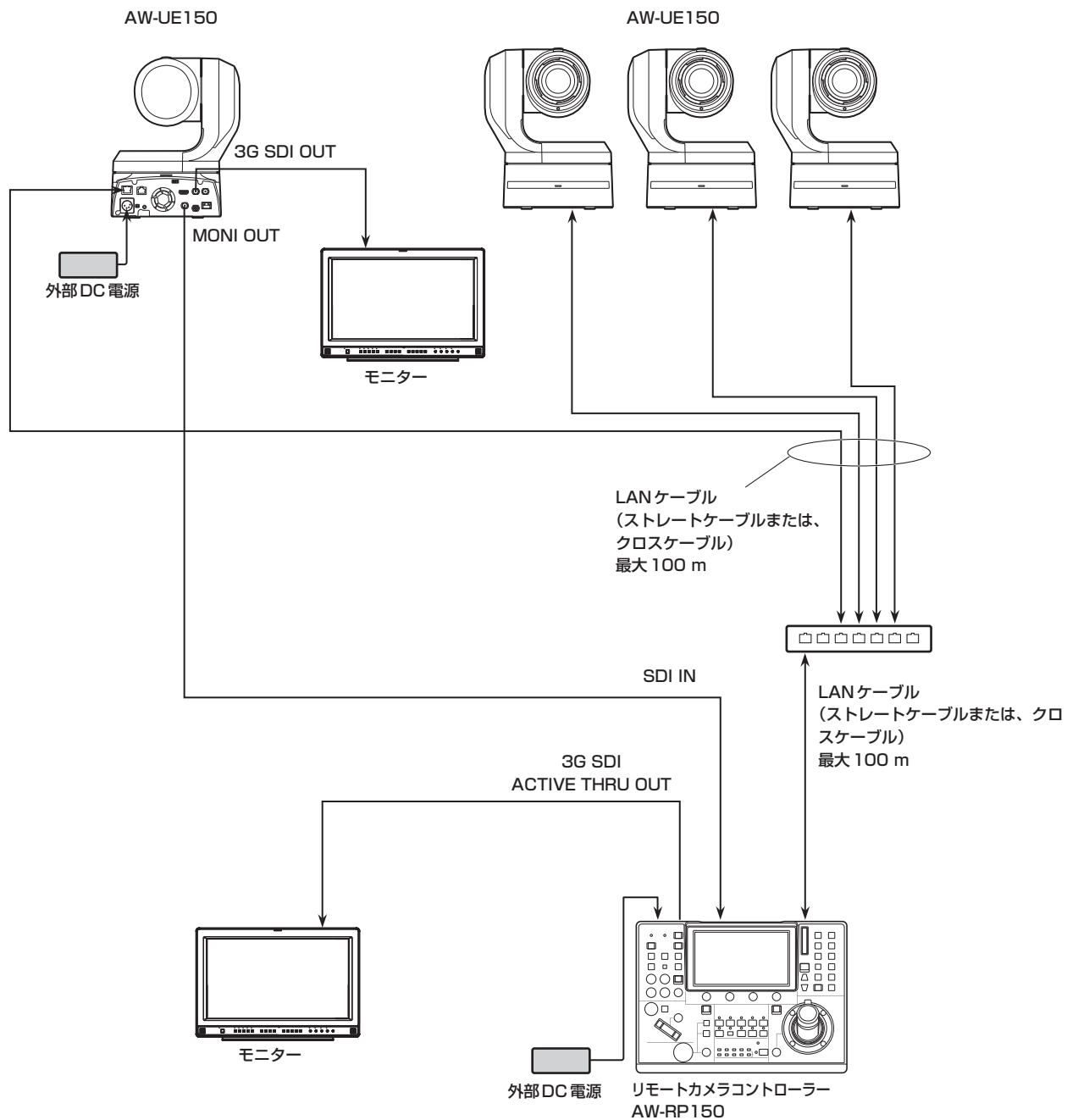
シリアル接続例

■ リモートカメラ (AW-UE150) とのシリアル接続



- LANケーブルは、ストレートケーブル(カテゴリ5eケーブル)を使用してください。
- シリアル接続時は、本機1台に接続できるリモートカメラは最大5台です。
- IP接続のリモートカメラを混在させることもできます。
- 本機1台に、IP接続、シリアル接続を合計して最大200台のリモートカメラを制御先として登録することができます。

■ 4K 映像から HD 映像を切り出す機能の接続例



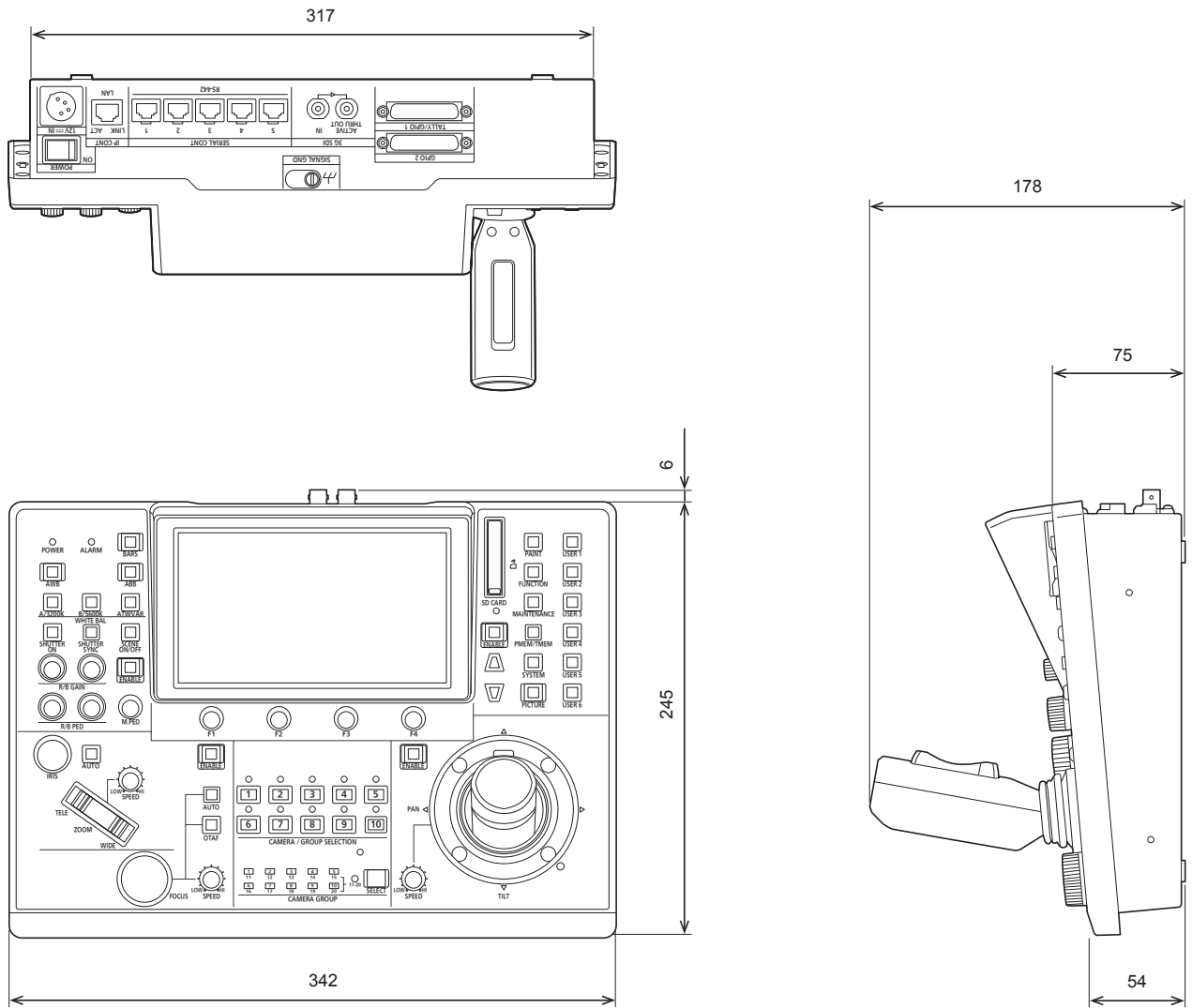
- LAN ケーブルは、カテゴリ 5e ケーブルを使用してください。

トラブルシューティング

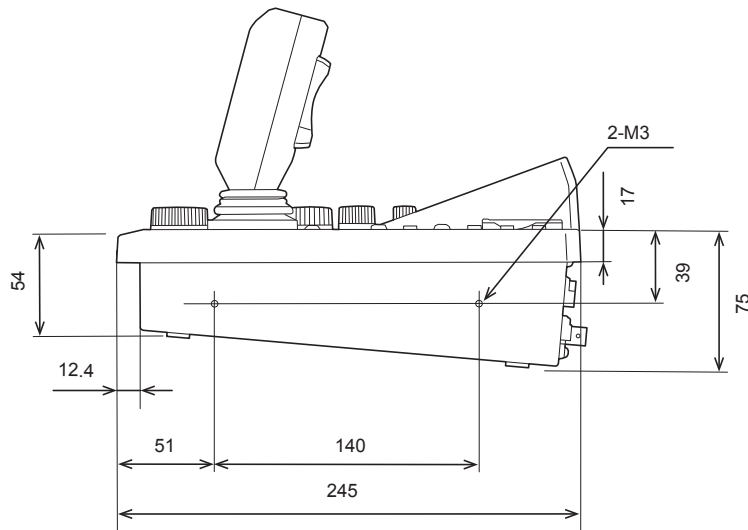
症 状	原因・対策	参照ページ
本機の電源が入らない	● 外部DC電源は動作していますか？	—
	● 外部DC電源のDCプラグは本機に確実に接続されていますか？	—
リモートカメラの操作ができない	● リモートカメラの電源は確実に接続されていますか？	—
	● リモートカメラと本機は正しく接続されていますか？	P.16～P.19
	● 接続設定は正しいですか？	取扱説明書 (PDF) → 「リモートカメラとの接続設定を行う」
	● リモートカメラがスタンバイ状態になっていませんか？ → リモートカメラの電源を入れてください。	取扱説明書 (PDF) → 「リモートカメラの電源の入れかたと切りかた」
	● リモートカメラは正しく選択されていますか？	取扱説明書 (PDF) → 「カメラグループを選択する」～ 「リモートカメラを選択する」
	● ENABLE ボタンは点灯していますか？	取扱説明書 (PDF) →「本機の基本操作」
	● リモートカメラのユーザー認証が設定されていますか？	取扱説明書 (PDF) → 「セットアップソフトウェア」→ 「リモートカメラとの接続設定を行う」→ 「[User Auth.] タブの表示」
PAN/TILTレバーの操作に対して、リモートカメラが逆方向に動く	● リモートカメラに設置方法の設定はされていますか？ → 設置状態 (据え置き / 吊り下げ) に応じて設定を行う必要があります。 リモートカメラの取扱説明書を参照してください。	—
	● 本機で動作方向を正しく設定していますか？	取扱説明書 (PDF) → 「メニュー」→「FUNCTION」→ 「PTZ INFO2」
ZOOM ボタン、FOCUSダイヤルの操作に対して、リモートカメラが逆方向に動く	● 本機で動作方向を正しく設定していますか？	取扱説明書 (PDF) → 「メニュー」→「FUNCTION」→ 「PTZ INFO2」

外形寸法図

単位：mm



● マウントアングル取り付け位置



定格

定格の詳しい内容については、当社Webサイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書を参照してください。

電源電圧 : DC (==) 12 V (10.8 V - 13.2 V)
DC (==) 42 V - 57 V (PoE+ 給電)
消費電流 : 1 A (DC12 V 給電)
0.6 A (PoE+ 給電)

本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示しています。

== DC (直流)

 は安全項目です。

■ 総合

動作周囲温度 : 0 °C ~ 40 °C
許容湿度 : 10% ~ 90% (結露なきこと)
質量 : 約 3.2 kg
寸法 (幅×高さ×奥行) : 342 mm × 178 mm × 245 mm
(突起部含まず)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社 (裏表紙) までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品 8年

当社では、リモートカメラコントローラーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。
※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス (保守・点検)

定期メンテナンス (保守・点検) は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。
部品の摩耗、劣化、ゴミ、ほこりの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。
定期メンテナンス (有料) についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいの上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	リモートカメラコントローラー
品番	AW-RP150G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
- この商品は出張修理させていただきますので、修理に際し、本書をご提示ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 - (ホ) 一般使用環境以外（例えば、強震、高温などの場所）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 取扱説明書に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご提示がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費及び高所の取外し、取付けに要する実費
- 故障、その他により正常に記録ができなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

製造番号をご記入ください。

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

出張修理

品番	AW-RP150G
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※ お買い上げ日	年 月 日
※ お客様	ご住所
	お名前 様
	電話 () —
※ 販売店	住所・販売店名
	電話 () —

リモートカメラコントローラー 保証書

本書はお買い上げの日から右記期間中故障が発生した場合には（無料修理規定）の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は（無料修理規定）に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は（無料修理規定）をご参照ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL 0120-872-233

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2018-2024